

2010年度 事業報告書

(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

1 事業の成果

○事業概要

第8回助成先(2008年度募集分)の調査研究・研修の成果発表会を実施した。

第9回助成先(2009年度募集分)については、その調査研究・研修活動の支援を行った。

引き続き、第10回助成の公募・選考を行い、国内の助成枠として19件、857万円、アジア枠として4件、170万円、合計23件、1027万円の助成を決定した。

また、2006年度から委託研究として取り組んできた「地震と原発」研究、2007年度から実施している「柏崎刈羽・科学者の会」の研究活動を引き続き支援した。

これらの活動を「高木基金だより」とメールマガジン、ホームページなどを通じて報告するとともに、市民科学のあり方等についての広報・普及活動を行った。

この他、高木仁三郎没後10年の取り組みとして「高木仁三郎没後10年のつどい」を開催し、「高木基金10年のあゆみ」を出版した。

○事業経過

2010年 5月20日 2009年度総会開催

2010年 6月15日 高木基金だより No. 24 発行 <約2,600通>

2010年 7月 4日 第8回助成の成果発表会を開催 <東京・港勤労福祉会館にて：参加者73名>

2010年 9月30日 助成募集(アジア枠調査研究・研修奨励) 〆切

2010年10月 8日 「高木基金10年のあゆみ」出版

2010年10月 9日 「高木仁三郎没後10年のつどい希望へと歩みつつける」を共催 <東京主婦会館プラザエフにて：参加者200名>

2010年11月25日 高木基金だより NO. 25 発行 <約2,600通>

2010年12月10日 助成募集(国内枠調査研究・研修奨励) 〆切

2011年 1月26日 選考委員会(国内枠)開催

(2011年 3月12日 第10回助成の公開プレゼンテーションは東日本太平洋沖地震のため中止)

2011年 3月30日 書面理事会にて第10回助成先を内定

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者	受益対象者の範囲及び人数	支出額	
(1) 市民の科学を目指す日本国内及びアジアの個人・グループの研究・研修への助成	国内の個人・グループへの調査研究助成	2010/4/1~2011/3/31	主に国内	(1)-(2) 共通で専従2名	主に国内の個人・グループ	NPO/グループ 5団体	市民科学をめざす個人・グループへの調査研究助成金(一般応募)	2,500,000円
	国内の個人への研修奨励	2010/4/1~2011/3/31	主に国内		主に国内の個人	個人 5名	市民科学をめざす個人への研修奨励金	2,170,000円
	アジアの個人・グループへの調査研究助成	2010/4/1~2011/3/31	主にアジア		アジアの個人・グループ	4団体	市民科学をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成金	1,700,000円
	募集告知、助成先選考、助成研究・研修の成果発表	2010/4/1~2011/3/31	国内		国内及びアジア	応募数 80件(個人・グループ)	助成関係費	1,698,912円
(2) 市民科学の理念及び研究成果の普及	支援者及び一般への研究成果の普及・活動状況等の広報としての「高木基金だより」の発行	NO. 24 2010/ 6/15 NO. 25 2010/11/25	国内		高木基金の支援者及び一般	各2,600名(発行部数)	広報活動費	1,639,109円
	助成先等の報告会・研究会及びセミナー等の開催	2010/7/4	都内		一般	5/9 50人 10/31 80人	普及活動費	54,770円
(3) 市民科学を目指す実践的な活動への助成	国内の個人・グループへの調査研究助成	2010/4/1~2011/3/31	国内		主に国内の個人・グループ	NPO/グループ 9団体	市民科学をめざす個人・グループへの調査研究助成金(継続応募)	3,900,000円
	委託研究	2010/4/1~2011/3/31	主に国内		一般	(広く社会一般に研究成果が還元される)	委託研究費	支出なし
(4) 自然エネルギー利用および省エネルギーの研究および普及活動への助成	今年度は実施せず							

(2) その他の事業

なし

以上

2010年度（特定非営利活動に係る事業）収支計算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 （単位：円）	
I 収入の部		
1 会費収入	4,389,000	
2 事業収入	0	
3 補助金等収入	163,020	
4 寄付金収入	8,917,675	
5 運用収入	462,478	
6 その他収入	157,169	
当期収入合計		14,089,342
II 支出の部		
1 事業費		
(1) 市民の科学を目指す日本国内及びアジアの個人・グループの研究・研修への助成		
助成金		
国内の個人・グループへの調査研究助成(一般応募)	2,500,000	
国内の個人への研修奨励	2,170,000	
アジアの個人・グループへの調査研究助成	1,700,000	
小計	6,370,000	
助成関係費		
公募関係費	19,570	
選考会費	754,756	
公開プレゼンテーション関係費	223,760	
成果報告会費	413,435	
アジア助成関係費	287,391	
小計	1,698,912	
(2) 市民科学の理念及び研究成果の普及		
広報・普及事業費		
広報活動費	1,639,109	
普及活動費	54,770	
小計	1,693,879	
(3) 市民科学を目指す実践的な活動への助成		
国内の個人・グループへの調査研究助成(継続応募)	3,900,000	
委託研究費	0	
小計	3,900,000	
事業費合計		13,662,791
2 管理費		
事務局人件費	4,602,686	
法定福利費	68,607	
消耗品費	30,567	
通信運搬費	165,341	
支払家賃	401,972	
印刷費	76,867	
旅費交通費	49,420	
会議費	740	
支払手数料	158,281	
新聞図書費	45,600	
備品購入費	3,980	
租税公課	2,000	
雑費	1,220	
管理費合計		5,607,281
当期支出合計		19,270,072
当期収支差額		-5,180,730

2010年度（特定非営利活動に係る事業）貸借対照表

2011年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目		金 額 （単位：円）	
I 資産の部			
1	流動資産	現金	247,191
		普通預金 三菱東京UFJ	139,752
		三菱東京UFJ（基金口）	14,027,269
		りそな銀行	47,794
		りそな銀行（振込用）	49,898
		郵便振替 00140-6-603393	968,846
		00160-4-758972	0
		国債 利付国債（10年）第309回	20,000,000
		未収入金 GiveOne寄付未入金分	21,000
	流動資産合計		35,501,750
2	固定資産	なし	0
	固定資産合計		0
	資産合計		35,501,750
II 負債の部			
1	流動負債	未払金 第10回助成金 未払分	8,170,000
		過年度助成金 未払分	400,000
		委託研究費 未払分	500,000
		柏崎刈羽科学者会3月分メール便代立替	25,200
		カード支払い未決済分	12,874
		3/11 公開プレゼン資料コピー代 他	
	預かり金	所得税	18,000
		2011年1月～3月給与支払分	
		雇用保険料従業員負担分	17,954
		2010年4月～2011年3月給与支払分	
		地方税 2011年4月分	34,700
	流動負債合計		9,178,728
2	固定負債	なし	0
	固定負債合計		0
	負債合計		9,178,728
III 正味財産の部			
		前期正味財産	31,503,752
		当期正味財産増減額	-5,180,730
	正味財産合計		26,323,022
正味財産及び負債の合計			35,501,750

2010年度（特定非営利活動に係る事業）財産目録

2011年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位:円)
I 資産の部	
1 流動資産	
資産の部	
現金	247,191
普通預金 三菱東京UFJ	139,752
三菱東京UFJ (基金口)	14,027,269
りそな銀行	47,794
りそな銀行 (振込用)	49,898
郵便振替 00140-6-603393	968,846
00160-4-758972	0
国債 利付国債(10年) 第309回	20,000,000
未収入金 GiveOne寄付未入金分	21,000
流動資産合計	35,501,750
2 固定資産 なし	
資産合計	35,501,750
II 負債の部	
1 流動負債 未払金	
第10回助成金 未払分	8,170,000
過年度助成金 未払分	400,000
委託研究費 未払分	500,000
柏崎刈羽科学者会3月分メール便代立替	25,200
カード支払い未決済分	12,874
3/11 公開プレゼン資料コピー代 他	
預かり金 所得税	18,000
2011年1月~3月給与支払分	
雇用保険料従業員負担分	17,954
2010年4月~2011年3月給与支払分	
地方税 2011年4月分	34,700
2 固定負債 なし	
負債合計	9,178,728
III 正味財産の部	
正味財産	26,323,022
正味財産及び負債の合計	35,501,750

2010年度（その他の事業）収支計算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
I 収入の部		
その他の事業収入	0	
当期収入合計		0
II 支出の部		
1 事業費		
事業費	0	
事業費合計		0
2 管理費		
管理費合計	0	
管理費合計		0
当期支出合計		0
当期収支差額		0

2010年度（その他の事業）財産目録

2011年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
資産	0	
資産合計		0
II 負債の部		
負債	0	
負債合計		0
III 正味財産の部		
正味財産		0
正味財産及び負債の合計		0

2010年度（その他の事業）貸借対照表

2011年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
資産	0	
資産合計		0
II 負債の部		
負債	0	
負債合計		0
III 正味財産の部		
前記繰越正味財産	0	
当期正味財産増減額	0	
正味財産		0
正味財産及び負債の合計		0

高木仁三郎市民科学基金 2010年度 助成金・委託研究費明細 (兼 未払助成金明細)

金額単位:円

受付番号	テーマ	助成申込者名 または代表者名	グループ名	助成金額	2010年度末 未払助成金
【国内の個人・グループへの調査研究助成(一般応募)】				小計	2,500,000
101001	諫早湾干拓調整池におけるアオコの大発生とアオコ毒の堆積物および水生生物への蓄積と健康リスク	梅原 亮さん	諫早湾アオコ研究チーム	500,000	500,000
101028	産業廃棄物最終処分場建設がモベツ川水系の野生サケの遡上・産卵に及ぼす影響に関する市民調査	畠山 敏さん	モベツ・サンクチュアリ・ネットワーク	400,000	400,000
101004	チェルノブイリ原発事故被災地におけるバイオエネルギー生産と農業復興の試み	池田 光司さん	チェルノブイリ救援・中部	400,000	400,000
101005	ビキニ水爆実験被災船員の実態調査と事件の実相解明	山下 正寿さん		700,000	700,000
101011	ニッケル鉱山開発および製錬事業地周辺における重金属(六価クロム等)による水質汚染と現地コミュニティの健康リスクに関する調査	波多江 秀枝さん	FoE Japan 開発金融と環境チーム	500,000	500,000
【国内の個人・グループへの調査研究助成(継続応募)】				小計	3,900,000
106001	「油症患者に係る健康実態調査」検証報告書の作成	石澤 晴美さん	カネミ油症被害者支援センター	500,000	500,000
106002	合成樹脂系VOCの健康影響実態調査	森上 展安さん	化学物質による大気汚染から健康を守る会	300,000	300,000
106003	六ヶ所再処理工場からの放射能放出に関する調査研究	古川 路明さん	六ヶ所再処理工場放射能測定プロジェクト	800,000	800,000
106004	原子力発電所周辺における海岸生物相の研究	山下 博由さん	海岸生物環境研究会	300,000	300,000
106005	在沖米海兵隊グアム移転がグアムと北マリアナ諸島に与える影響の研究	山口 響さん	ピープルズ・プラン研究所	200,000	200,000
106006	彩の国資源循環工場による環境汚染調査	加藤 晶子さん	彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば	200,000	200,000
106007	玄海1号炉の高い脆性遷移温度の検討	伴 英幸さん	原発老朽化問題研究会	700,000	700,000
106008	草の根市民による沖縄のジュゴン保護活動の構築	鈴木 雅子さん	北限のジュゴンを見守る会	200,000	200,000
106009	埋め立ての危機に瀕する上関原発予定地および周辺海域の生物多様性の立証	高島 美登里さん	長島の自然を守る会	700,000	700,000
【国内の個人への研修奨励】				小計	2,170,000
92003	米国がん患者支援団体による科学研究費獲得、臨床試験推進に関する研修【研修先:テキサス州立大学付属MDアンダーソンがんセンターほか】	桜井 なおみさん		300,000	0
92005	脱原子力の政治過程—ドイツ・ゴアレーベンにおける最終処分場問題—【研修先:ドイツ リューネブルク大学民主主義研究センター】	佐藤 温子さん		300,000	0
92007	スウェーデン環境裁判所における判例研究及びその評価【研修先:スウェーデン ルンド大学大学院】	澤木 千尋さん		800,000	0
102005	米国の工業的畜産と多国籍アグリビジネス支配に対抗する市民運動(サステイナブル・フード・ムーブメント)の成果とその手法を学ぶ	野崎 杏子さん		400,000	400,000
102006	米国ニューメキシコ州文化財として認定されたテラー山における「ロカ・ホンダ」ウラン鉱山開発問題	玉山 ともよさん		370,000	370,000
【アジアの個人・グループへの調査研究助成】				小計	1,700,000
103-006	台湾における初めての市民地質調査隊～原発震災の危険性を防ぐために～	陳 炯森さん	緑色公民行動連盟【台湾】	500,000	250,000
103-014	中国の電気電子機器廃棄物(E-waste)リサイクルにおける効果的なシステム構築:コミュニティにおける実践的調査	Lai Yunさん	Greenpeace China【中国】	500,000	250,000
103-008	フィリピンソン島サンパレス州の大規模鉱山開発が流域や保護地区に与える環境影響およびコミュニティによる資源管理と代替生計手段の把握		Kilusan para sa Pambansang Demokrasya (KPD)-Philippines【フィリピン】	400,000	200,000
103-019	伝統的な知識とウラン鉱山開発:開発エリアに住む人々の経験と知恵に関する調査		Shri Prakash【インド】	300,000	300,000
【過年度分未払い助成金】					
91016	原子力発電所の建設に伴う関係漁村地域の対応と海の入会実態の研究—漁協・漁業入会集団への現地聞き取り調査をとおして	中島 満さん		300,000	150,000
93019	イロイロ市カラフナンの廃棄物処分場における環境・健康リスク調査【フィリピン】	ノーマン・デキーナさん	イロイロ市貧困者の会(KAISOG)	300,000	150,000
93026	日本とインドネシアの比較研究:原発の意思決定に参加する市民の権利に関する調査【インドネシア】	ディアン・アブラハムさん	インドネシア反核市民連合(MANUSIA)	350,000	100,000
助成金合計				10,270,000	8,570,000
【委託研究費】				0	500,000
【2006年度からの継続】「地震と原発」研究		山口 幸夫さん	原子力資料情報室	2006年度支出	500,000
委託研究費合計				0	500,000

2011年 4月 15日

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金
代表理事 河合 弘之 殿

会 計 監 査 報 告 書

当法人の2010年度（2010年4月1日から2011年3月31日）の会計について、
財産目録、貸借対照表、収支計算書等を精査した結果、適正なものである
ことを認めます。

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金
監事 蝦名 順子

1. 2010 年度事業報告および決算報告について

(1) 国内枠助成

- ・第 10 回の助成募集・選考を行い、国内枠として調査研究助成 14 件 640 万円(昨年実績比+60 万円)、研修奨励 5 件 217 万円(同+111 万円)の助成を決定した。(明細は別紙をご参照)
- ・2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災のため、3 月 12 日に予定していた調査研究助成の公開プレゼンテーションを急遽、中止せざるを得ない状況となった。さらに、福島第一原発での過酷事故発生もあり、緊急対応として、公開プレゼンテーションを実施せず、書面理事会で助成先を決定することとした。また、3 月 11 日に予定していた研修奨励の面接は延期し、3 月 26 日に実施した。
- ・2008 年度より、調査研究助成については、継続的に応募・助成をしているグループ等に助成先が固定するのを避け、新規の助成先を積極的に発掘するという観点から、過去に 2 回以上の助成実績がある応募者（継続応募）と、それ以外の応募者（一般応募）を区別して選考を行うこととしているが、2010 年度の選考結果としては、継続応募 9 件 390 万円、一般応募は 5 件 250 万円となった。
- ・なお、研修奨励については、昨年度（2010 年 3 月）に受け付けていた応募分について、7 月までに 3 件 140 万円の助成を決定したため、2010 年度の助成募集は、調査研究助成と同様に、11～12 月の一回のみの募集とした。（従来は、年間に 3 回の募集期間を設けていた。）

【第 10 回助成(国内枠)の募集・助成結果】

募集	国内向け調査研究助成 …… 2010 年 11 月 1 日～12 月 10 日 国内向け研修奨励 …… 2010 年 11 月 1 日～12 月 10 日																				
応募	<table> <tbody> <tr> <td>応募件数</td> <td>国内合計 59 件</td> <td>応募総額</td> <td>4,408 万円</td> </tr> <tr> <td>調査研究(一般応募)</td> <td>37 件</td> <td></td> <td>2,650 万円</td> </tr> <tr> <td>調査研究(継続応募)</td> <td>9 件</td> <td></td> <td>773 万円</td> </tr> <tr> <td>研修奨励 ※</td> <td>13 件</td> <td></td> <td>985 万円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(※ 2009 年度第 3 回の応募分 7 件 563 万円を含む)</td> </tr> </tbody> </table>	応募件数	国内合計 59 件	応募総額	4,408 万円	調査研究(一般応募)	37 件		2,650 万円	調査研究(継続応募)	9 件		773 万円	研修奨励 ※	13 件		985 万円	(※ 2009 年度第 3 回の応募分 7 件 563 万円を含む)			
応募件数	国内合計 59 件	応募総額	4,408 万円																		
調査研究(一般応募)	37 件		2,650 万円																		
調査研究(継続応募)	9 件		773 万円																		
研修奨励 ※	13 件		985 万円																		
(※ 2009 年度第 3 回の応募分 7 件 563 万円を含む)																					
選考	<p>2011 年 1 月 25 日、選考委員会にて書類選考を実施。</p> <p>3 月 12 日に、港勤労福祉会館にて国内枠調査研究助成の公開プレゼンテーションを予定していたが、東日本大震災のため中止し、3 月 28 日に書面理事会として発議し、3 月 31 日に助成先を内定した。</p> <p>研修奨励については、3 月 11 日に面接を予定していたが、同様に東日本大震災で中止し、3 月 26 日に京都で面接を実施し、調査研究助成と同様に、書面理事会で助成先を決定した。</p>																				
助成決定	<table> <thead> <tr> <th></th> <th>第 10 回助成</th> <th>累 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内向け調査研究助成</td> <td>14 件 640 万円</td> <td>124 件 6,840 万円</td> </tr> <tr> <td>国内向け研修奨励</td> <td>5 件 217 万円</td> <td>25 件 1,203 万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19 件 857 万円</td> <td>149 件 8,043 万円</td> </tr> </tbody> </table>		第 10 回助成	累 計	国内向け調査研究助成	14 件 640 万円	124 件 6,840 万円	国内向け研修奨励	5 件 217 万円	25 件 1,203 万円	合計	19 件 857 万円	149 件 8,043 万円								
	第 10 回助成	累 計																			
国内向け調査研究助成	14 件 640 万円	124 件 6,840 万円																			
国内向け研修奨励	5 件 217 万円	25 件 1,203 万円																			
合計	19 件 857 万円	149 件 8,043 万円																			

- ・第 8 回助成先の助成期間が 2010 年 3 月で終了し、調査研究・研修成果のとりまとめを行った。
- ・第 8 回助成の成果発表会を 7 月 4 日(日)に、東京の港勤労福祉会館で開催した（参加者 73 名）。
- ・調査研究・研修の完了報告書・会計報告書は、成果発表会の当日資料として配付するとともに、概要をホームページに掲載した。また、助成の成果報告をまとめた「高木

基金助成報告集 vol.7」については、事務局の編集作業が遅れ、2010 年度中の発行ができなかったため、2011 年度の早期に発行する。

(2) アジア枠助成

- 第 10 回の助成について、募集期間（8 月中旬～9 月末）を設け、国内外に広く応募を呼びかけた。
- 募集期間内に 21 件の応募があり、選考委員による書類選考を経て、理事会で 5 件 200 万円の助成を決定したが、内 1 件から内定の辞退があり、最終的に 4 件 170 万円の助成の決定となった。
- 応募件数は昨年度（29 件）より若干減少し、例年応募の多いフィリピン、インドネシアからの応募は少なく、インドからの応募が半数近くを占めた。テーマ別では「資源開発」「重金属・廃棄物汚染」「原子力発電」といった従来どおりの案件と比べ、河川や湿地、森林など生物多様性保全の案件が増加した。これは、生物多様性条約締約国会議が 2012 年にインドで開催されることも要因の一つとして考えられるが、高木基金の募集要項のメール情報が特定のメーリングリストに流れたことが大きな要因であると考えている。広いアジアの中で適切な場所・案件への助成を実施するための有効な情報発信が課題である。
- 第 9 回助成先について、スリランカ、フィリピン、中国を訪問し、助成先やその調査研究について状況を把握し、基金だよりなどを通じて国内向けに発信した。こうした活動に対し、米国の Global Greengrants Fund (GGF) という財団から「高木基金は日本とアジアの草の根団体にとって戦略的に重要な役割を果たしている」などの評価を受け、少額の助成金提供の申し出があり、これを受けた。

【第 9 回助成(アジア枠)の募集・助成結果】

募集	調査研究助成・研修奨励 …… 2010 年 8 月 15 日～9 月 30 日		
応募	応募件数	21 件	応募総額 1,831 万円
	内 調査研究	21 件	1,831 万円
	研修奨励	0 件	0 万円
選考	2010 年 11 月 22 日～12 月 10 日に選考委員による書類選考を実施。2010 年 12 月 21 日の理事会で助成先 5 件を内定。内 1 件は辞退したため、最終的に 4 件の助成先を決定。		
助成決定		第 10 回助成	累 計
	アジア向け調査研究助成	4 件 170 万円	26 件 1,195 万円
	アジア向け研修奨励	なし	2 件 115 万円
	合計	4 件 170 万円	28 件 1,310 万円

(3) 委託研究

・「地震と原発」研究

この委託研究は、2006 年 11 月からの取り組みで、2008 年 10 月までの 2 年間で予定していたが、その後の新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原発の問題等が大きな焦点となり、下記の「柏崎刈羽・科学者の会」への委託研究と並行して実施することとしていた。引き続き、柏崎刈羽原発の問題が緊迫した状況にあること、実際には、二つの研究グループのメンバーの多くが重複していることもあり、2009 年度は、「柏崎刈羽・科学者の会」への委託研究を主体とし、「地震と原発」研究については、未払いの委託研究費の支出も行わなかった。

・「柏崎刈羽・科学者の会」

新潟県中越沖地震で被災し、全7基が稼働を停止した柏崎刈羽原発については、すでに1、5、6、7号機の運転が再開された。引き続き、他の号機の耐震安全性、設備健全性等について、新潟県の技術委員会（およびその元に設置された小委員会）での検証が行われており、「柏崎刈羽・科学者の会」では、この議論に関わる論点の分析、委員への問題提起、情報提供等に力を注いできた。

2010年度は、委託研究としては、追加の支出などを行わなかったが、「柏崎刈羽・科学者の会」として、自主財源を獲得し、活動の基盤を確立する方向で、会員の募集などを開始した。関係する委員会や自治体関係者、地元住民等へのリーフレットなどの配布を行うなど、東京電力側の動きに対し、科学的・技術的な立場から、精力的に批判的検証を行っており、高木基金としては、側面的な支援を継続した。

(4) 高木仁三郎没後 10年にかかわる取り組み

- ・2010年は、2000年10月に高木仁三郎が亡くなり、12月に日比谷公会堂での「偲ぶ会」で高木基金が発足してから、10年の節目の年であり、10月9日に、主婦会館にて、原子力資料情報室、高木学校とともに、「高木仁三郎没後10年のつどい」を開催した。
- ・当日は、第一部に、金平茂紀氏（TBS元アメリカ総局長）、と山口幸夫氏の講演、第二部は、パーティとし、高木仁三郎の歩みや目指してきたものをあらためてふりかえるとともに、それをふまえて、参加者一人一人が「希望の未来」へと歩みつづけていく契機とすることをめざした。
- ・高木基金としては、これにあわせて、「高木基金10年のあゆみ」および入会案内パンフレットを作成し、当日の参加者に配付するとともに、会員、支援者にも発送した。
- ・あわせて、当日の第二部終了後に、高木基金の役員、助成先などに呼びかけ、高木基金のこれからを考えるブレインストーミングを行った。助成のあり方や、研究者等のネットワーク、さらに資金調達の取組などについても様々な意見が出され、今後の活動につなげていくこととした。

(5) 選考委員の一般公募

- ・2007年度から実施している選考委員の一般公募では、2010年度は、4名の応募者の中から、理事会で選考の結果、山下博美氏に選考委員を委嘱することとした。

(6) 会員・組織基盤拡大の取り組み

- ・2010年度の会員・支援者数の状況は下記の通り。
支援者数では、19名の減少となった。新規の支援者拡大に努めているが、ここ数年、実際の支援者数が伸びておらず、具体的な取組の強化が課題となっている。
- ・支援者の内訳を見ると、前年度からの継続の支援者もやや減少しているが、前年度に支援がなく、それ以前に支援があった方からの支援（復活）が156名あった。今後も、支援が一旦途切れた方を含め、継続的な支援の呼びかけを続けていく。
- ・支援金額では、大口の寄付が減少したが、大口寄付は、年度ごとの変動が避けられない。一方で、大口以外（1件50万円以下のご支援）の一般のご支援では、支援者が減少ぎみだが、支援金額が年々増加している。一人あたり、10万円以上の支援者が増加してきており、今後は、このような支援の拡大にも取り組んでいきたい。

2006-2010 年度の支援者数の推移

	06 年度	07 年度	08 年度	09 年度	10 年度	前年比	備考
正会員	18 人	18 人	18 人	19 人	19 人	±0 人	
維持会員	258 人	268 人	256 人	241 人	234 人	▲7 人	
賛助会員	305 人	314 人	293 人	275 人	281 人	+6 人	
会員計	580 人	600 人	563 人	535 人	534 人	▲1 人 (▲0.02%)	*1
寄付者	120 人	120 人	130 人	138 人	120 人	▲18 人	
支援者総数	689 人	720 人	693 人	673 人	654 人	▲19 人 (▲2.8%)	
支援者の内訳							*2
新規	33 人	47 人	40 人	57 人	50 人	▲7 人	
継続	578 人	517 人	521 人	478 人	448 人	▲30 人	
復活	77 人	156 人	132 人	138 人	156 人	+18 人	

*1 一部重複があるため合計が一致しない *2 内訳の「継続」は前年度も支援のあった方、「復活」は過去に支援の実績があり、前年度はなかった方。

- ・ニュースレター「高木基金だより」等の発行(約 2,600 部)については、年間 4 回(基金だより 3 回+公開プレゼンの案内)を予定していたが、公開プレゼンの中止を受けて国内枠助成先決定が遅れたため、3 回目の高木基金だよりの発行は延期した。

(7) 2010 年度決算について

- ・2010 年度の収入は、会費・寄付が予算を約 820 万円下回り、収入全体でも、予算対比 ▲831 万円の 1,409 万円となった。一方、支出では、助成金は、国内の研修奨励で予算を上回る助成を決定したこともあり、助成金全体では、予算を 27 万円上回る 1,027 万円となったが、委託研究費の支出を次年度以降に繰り越し、その他の事業費でも、助成報告集の発行が次年度にずれ込んだことなどもあり、支出総額は予算比 ▲263 万円の 1,927 万円となった。これにより、2010 年度の収支は、518 万円の赤字となり、年度末の基金残高は、2,632 万円となった。
- ・2010 年度の会費・寄付の内訳では、大口寄付が、前年より 675 万円減少し、これが全体の収支に影響した。
一方で、大口以外(50 万円以下)の一般の会費、寄付を見ると、前年比、47 万円ほどの増加となっている。特に、一人あたり、10 万円以上の支援をしてくださる方が、ここ数年増えてきており、実際の支援者人数が若干減少傾向にある中で、寄付金額の上昇につながっており、高木仁三郎没後 10 年のつどいなど、10 年の節目を機に、支援を訴えてきたことが功を奏したと考えられる。
- ・2010 年度の新規支援者は 50 名にとどまり、ここ数年、重点課題としているものの、具体的な取組を強化しなければならない。

2007-10 年度の会費・寄付の内訳(市民研究サポートを含む)

	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	前年比
支援合計	18,589 千円	15,890 千円	19,589 千円	13,306 千円	▲6,283 千円
内 一般の会費・寄付	7,589 千円	7,284 千円	7,589 千円	8,056 千円	+467 千円
[1 人あたり]	[10,540 円]	[10,512 円]	[11,276 円]	[12,319 円]	[+1,043 円]
内 大口の寄付	11,000 千円	8,606 千円	12,000 千円	5,250 千円	▲6,750 千円

1 件で 50 万円以上の寄付を大口の寄付、それ以外を一般の会費・寄付として集計している。

2. 2011 年度事業計画及び収支予算について

(1) 第 1 1 回助成(国内枠およびアジア枠)

国内枠

- ・今年度の国内枠助成については、基本的に 2010 年度と同様のかたちで取り組みたい。
- ・例年同様、第 10 回助成の成果発表会の開催、助成報告集の発行を行う。
- ・なお、2010 年度中に完了しなかった、第 9 回助成の助成報告集の発行を早期に行う。

アジア枠

- ・今年度について、基本的に 2010 年度と同様のかたちで取り組みたい。
- ・第 1 1 回助成は、前年度と同時期（8 月中旬～9 月末）に募集期間を設けて、国内外に広く応募を呼びかけたい。
- ・第 10 回助成先の現地訪問を行い、各調査研究およびアジアにおける市民科学の現状把握ならびに支援・連携体制の構築を図りたい。
- ・福島原発事故を受けて、アジア各国の脱原発運動が活発になることが考えられる。こうした動向を注視し、適切な支援・連携を検討したい。
- ・欧米の NGO や財団との連携の方法を引き続き模索したい。
- ・高木基金ウェブサイトや広報物を通じて、助成先の成果や高木基金の活動を分かりやすく発信したい。

助 成 分 類	2011 年度予算	備 考
国内枠 調査研究助成 (一般応募および継続応募)	650 万円	前年度予算と同額
国内枠 研修奨励	150 万円	
アジア枠 調査研究助成・研修奨励	200 万円	
合 計	1,000 万円	

(2) 委託研究

- ・東北地方太平洋沖地震によって発生した「福島原発震災」に関して、これまでの「柏崎刈羽・科学者の会」、「地震と原発研究」への委託研究をベースに、あらたに調査研究プロジェクト（委託研究費 300 万円）を立ち上げる方向で検討したい。
- ・これにあわせて、市民研究サポート（寄付予算 250 万円）を呼びかけたい。

(3) 選考委員の一般公募

- ・2007 年度から実施している選考委員の一般公募は、選考および組織運営の活性化に寄与しており、今年度も従来同様に選考委員の一般公募(1 名)を実施したい。

(4) 会員・組織基盤の拡大とそのための広報の強化

- ・従来からの会員・支援者への継続支援および、口座振替の利用を呼びかけ、新規支援者の開拓につとめる。
- ・特に、遺贈寄付の獲得にむけた取組を具体化する。
- ・この間の収支動向を見ても、一般の方からの支援を着実に集めつつ、大口の支援を獲得できるよう、理事会・事務局として、全力で取り組んでいきたい。

(5) 2011 年度予算

・今年度の予算は下表の通りとし、単年度収支均衡を目指す。

(単位:千円)

		2009 年度 実績	2010 年度 実績	2011 年度 予算	前年実績 対比	備考
収 入	会費収入	4,432	4,389	5,000	+611	
	寄付収入	15,101	8,868	20,500	+11,632	
	市民研究サポート	55	50	2,500	+2,450	
	支援小計	19,589	13,307	28,000	14,693	
	内 一般の会費・寄付	7,589	8,056	9,000	+944	
	内 大口寄付	12,000	5,250	19,000	+13,750	
	補助金など	0	163	500	+337	
	利息・雑収入など	372	620	300	▲320	
	収入合計	19,961	14,089	28,800	+14,711	
支 出	助成金	8,860	10,270	10,000	▲270	
	委託研究費	70	0	3,000	+3000	
	助成関係費(国内)	2,436	1,412	2,800	+1,388	
	助成関係費(アジア)	222	287	600	+313	
	広報・普及事業費	1,550	1,694	1,700	+6	
	管理費	5,803	5,607	5,900	+293	
	内 人件費	4,652	4,602	4,800	+198	
	支出合計	18,941	19,270	24,000	4,730	
収支差額	+1,020	▲5,180	+4,800	+9,980		
年度末正味財産(基金残高)	31,504	26,323	31,123	+9,980		